

日本の伝統文化「柔らかな強制」が奏功

■日本が新型コロナの感染者・死者数が少ないのはなぜか？

(1)「みんながやるなら私も」の“右へならい”習慣

私の著書に「福祉活動の仕掛け方」というものがある。本ホームページの、著作集の中に入っている。そこで日本に適しているのは自発的な行動でも、強制でもない、その中間の「柔らかな強制」なのだ。明らかな強制には反発するが、強制していないようで実質的には強制ではないかという、微妙なあり方がいいのだ。

福祉関係者がボランティア活動を推進する場合に、本人の自発性をしきりに強調するが、これは日本の文化を考えに入れていない証拠だ。日本には自発性は向いていない。やっぱり「柔らかな強制」が向いているのだ。助け合いも、自発的にとか、進んでというよりも、頼まれたら助けるのがいいのだ。

(2)政府・自治体・マスコミ・専門家が手を組んで効果を数倍増

前述のとおり、日本人は1人で自発的に行動するよりは、なんとなく促されてやる方が性に合っているようで、古来、さまざまな形の「柔らかな強制」が考えられてきた。「一見、強制に見えない強制」がポイントなのだ。

例えば「まわりの人が皆やっている」となれば、自分もやらざるを得ないと思うだろうし、会社で上司が始めたら、部下としてやらないというわけにはいかない。

今回のコロナウィルスに対する国や自治体、マスコミの対応の仕方を見ていて、これは日本人に合うのではないか、みんな言うことを聞かろうと読んだが、そのとおりになった。

総理大臣がテレビに出て、我慢してください、お願いしますと懇願する。県知事も毎日のようにテレビに登場して、「三密」ですよと繰り返す。NHKなどのマスコミもそれを放映する一方で、国民に向かって、マスクの仕方やうがいの仕方、手の洗い方までを指導する、それも毎日だ。総理大臣というお上、県知事という、いわば社長、そしてマスコミという「第三の権力」が我々に向か

って、強制するのではなく「懇願」している。日本の文化をこれほど意識した活動は、今までにはなかったのではないかと。国民は間違いなく言うことを聞くと確信した。ただ指示するだけでなく、マスクも各家庭に配った、10万円も支給した。

しかも彼らの「懇願」に専門家たちが毎回、お墨付きをくれている。それだけでなく、ときどき重要な局面にマスコミに登場して、コロナの拡散状況などを、分かり易く、懇切丁寧に説明した。専門家に弱い日本人の「琴線に触れた」。これも大きい。

欧米各国がどういう作戦を国民への説得のために使ったのかは知らないが、日本の方式は、まさに日本の文化を総動員してのお願いであったという点では、他の国ではまねのできないことをやったと評価できる。

(3)障害や高齢問題でも同じことをやってももらえないか…

私が今回の「文化の活用」策を見ていて、これはうまいことをやっているなと感嘆する一方で、これと同じやり方を、例えば超高齢社会への対応などにも使ってもらえないのかと考えた。超高齢社会になり、5人に1人が認知症になる大変な社会、これもまた国難だと思う。その時、今回のコロナ対策と同じ方法を取ってくれればと思ったのだ。そう思うのは、このやり方を取れば、絶対にうまくいくのではという希望が出てきたからである。

総理大臣がテレビに登場して懇願する。「皆さん、これからやって来る超高齢社会は、5人に1人は認知症になり、皆さんの周りにも90歳の人たちがたくさんいて、支援者よりも要援護者の方が多くなる、大変な社会です。これはもう国難と言うべきです。そこで1人ひとり、足元の超高齢者がただ安全にでなく、その人らしく生きていけるような地域をつくれるよう、協力してください。要援護者の行動半径は極端に狭いのです。50世帯程度のご近所ごとに、彼等も尊厳を持って生きていけるような助け合いの地域を作る必要があります。やり方は、次の通りです」。云々…

(4)次なる国難へのオールジャパン的な行動指針をまとめたら？

国難とは大げさなと思われるかもしれないが、見方によればそうなのだ。そこで、コロナと同じ戦略をまとめて、国難に該当する場合の「オールジャパン」的なやり方のマニュアルというか、行動指針をまとめるべきではないか。そういうことをしないと、今の福祉はどの面からも、ドラスティックに前進することは期待できないのではない。

柔らかな強制

①皆がやっている

それなら私もやろうか

②上司がやっている

上司は「やれ」とは言わないが…

③業務の中で

業務なら否応なく全員参加する

④社長の鶴の一声

これもまた否応なく…

⑤お上が言っている

今だに「お上」の威光は強力

⑥仲間に誘われた

身内の誘いに乗らないのは不義理？

⑦全国的運動に

むしろすすんでやるのでは？

⑧テレビが言う

マスコミの威力も絶大だ

⑨専門家が言う

「〇〇大学教授」の肩書は効果抜群